



発行：2017年10月25日



# 保健だより 11月号

朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。一日のうちの寒暖差が激しいと、風邪をひきやすくなります。これからやってくる本格的な冬に向けて、風邪に負けない丈夫な体作りを心がけましょう。

## 月の休園日数、0歳児は2.52回、3歳児は0.94回 (2017年10月17日 日経 DUAL)

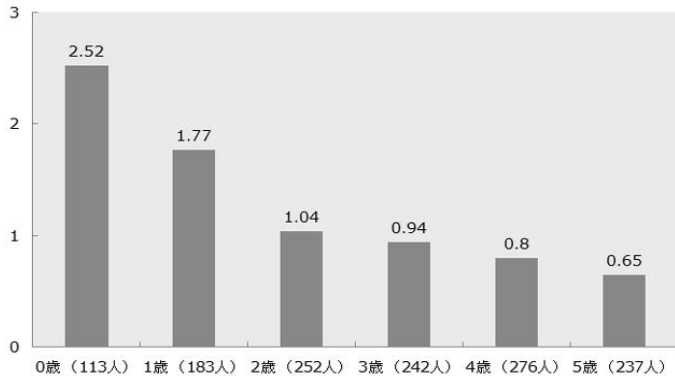
大人なら、病気で会社を休むことがあったとしても、年に一度か二度ぐらいのこと。ところが子どもの場合は、月に何度も病気で保育園を休むことが珍しくありません。

上記の表を見ると、0歳ではひと月当たり平均2.52回休んでいます。もちろん、個人差はありますが、子どもの看病のために、月に2回も仕事を休まないといけないという状況は、社会人にとってはなかなかハードですね。

ところが、3歳になると、月平均休園日数が0.94回になり、1カ月に休む日数が1日を割る子がほとんどを占めるようになります。また、1歳のときには月に2~4日以上休園していた子が、5歳のときにはめったに休まなくなるというデータもあります。

つまり、頻繁に子どもが病気をし、休まなければいけない時期というのは、生まれてから数年の間だけのことなのです。

年齢別保育園児の月当たり平均休園日数 (富山市内調べ)



## 11~12月は嘔吐下痢症 (=ウイルス性胃腸炎) の流行期

嘔吐下痢症 (=ウイルス性胃腸炎) は、突然の嘔吐で発症するノロウイルスが原因の胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は24~48時間であり、感染力が強いのが特徴です。まず、2~15回嘔吐し、少し後から下痢が始まり、いつもより酸っぱいにおいの黄色か白っぽい水様便になります。おむつ交換や嘔吐処理した大人の手にはウイルスが付着し、手にウイルスが付着したままものを食べたり、ドアノブなどを触ることで汚染拡大します。また、トイレまわりに下痢便が飛び散った飛沫からも感染します。保育園においては、日頃からのおむつ交換後の30秒石鹸手洗いに加え、突然嘔吐する児童が発生したら速やかに次亜塩素酸ナトリウムによる施設内消毒等の感染拡大防止行動をとることが重要です。当園では、「感染症マニュアル」に準じて感染拡大防止行動をとってまいります。

## 与薬の流れ ~薬の受渡~

“薬の受渡・返却は全て手渡しを原則”とさせていただきます。

連絡帳ケースやカバンの中での園内保管は、誤飲事故につながり、子どもの命に危険を及ぼしますので、ご協力をお願いいたします。

### ① 手渡しで受取

- 「与薬依頼票」「薬」「薬剤情報提供書」を登園時に直接手渡しでお預かりします。
- 「園児氏名」「与薬時刻」が記入されていない場合・薬剤情報提供書がない場合は薬はお預かりできません。
- シロップ薬を含め、散剤・シロップ薬全て1回分量毎に分けてご持参ください。
- 与薬依頼票の記入漏れ・薬への氏名と時刻の明記・1回分量を確認してから、保護者様をお見送りいたします。



### ② 与薬ポケットへ

- 与薬ポケットにて「与薬依頼票」「薬」「薬剤情報提供書」を管理します。



### ③ カバンにタグ

- 薬返却・与薬報告忘れ防止の為、お子様のカバンに赤色タグを取付けます。このタグは、お迎え時にカバンを受取後、保護者様がタグを取り外して「預けた薬・依頼票との引換札」として保育者にお渡しいただけます。

### ④ 与薬

- 与薬量・与薬児童の間違え防止の為、与薬者は「〇〇ちゃんに昼(又は夜)の薬を与薬します」と周囲の保育者に聞こえるように確認したうえで、与薬します。
- シロップは必ず2名の保育者で目視確認して与薬します。



### ⑤ 与薬完了ポケットへ

- 与薬を済ませた保育者は、その場で「与薬依頼票」に署名・押印します。
- 記入済の「与薬依頼票」を予約完了ポケットにてお迎えまで管理します。



### ⑥ 手渡しで返却

お迎え時にカバンを受取後、保護者様がタグを取り外して「預けた薬・依頼票との引換札」として保育者にお渡しください。受け取った保育者は、タグと引き換えに、「与薬依頼票」「薬」「薬剤情報提供書」をお渡しし、与薬報告をいたします。